

計画事業番号	00103	事務事業名	介護支援ボランティア事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	816
--------	-------	-------	--------------	------	-----------------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	介護保険法第115条の45			
事務事業開始年度	平成25年		個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち	
	(第 5 節) 高齢者福祉・介護の充実	
	(施策 1) 生きがいと社会参加の促進	
2 対象	介護認定を受けている方を除く65歳以上の高齢者	
3 目的と内容	介護予防の推進を目的に、ボランティア活動を通して、地域の社会参加活動への貢献を支援する。 介護支援ボランティアの登録した高齢者が、登録している介護保険施設や介護サービス事業所において行ったボランティア活動に対し、活動実績をポイント化し、ポイントに応じて現金または物品に交換できる。	
4 実施内容 (手段)	27年度まで	ボランティア登録研修会を実施し、ボランティア登録を行う。 ボランティア活動の実績に応じ、ポイントの交換を行う。
	28年度	昨年と同様であるが、ボランティア登録研修会を実施し、ボランティア登録を行う。 ボランティア活動の実績に応じ、ポイントの交換を行う。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボランティア登録研修会開催 ボランティア登録、ポイント手帳交付、更新 活動調整 ポイント交換申請受付・交付 100人×5,000円	ボランティア登録研修会17回 活動施設 29か所 登録者 173人 活動者 117人 ポイント交換者 64人 交換ポイント 2,372ポイント	ボランティア登録研修会開催 6回 ボランティア登録、ポイント手帳交付、更新 活動調整 ポイント交換申請受付・交付 150人×5,000円	ボランティア登録研修会開催 6回 ボランティア登録、ポイント手帳交付、更新 活動調整 ポイント交換申請受付・交付 180人×5,000円	ボランティア登録研修会開催 6回 ボランティア登録、ポイント手帳交付、更新 活動調整 ポイント交換申請受付・交付 210人×5,000円	ボランティア登録研修会開催 6回 ボランティア登録、ポイント手帳交付、更新 活動調整 ポイント交換申請受付・交付 210人×5,000円		

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	昨年度からポイント交換が始まり、概ね計画どおり事業を執行できたので、現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			467	1,107	1,311	1,525
事業額	直接事業費	国支出金	182	277	511	595
		道支出金	91	138	256	297
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	100	450	256	297
		一般財源	94	242	288	336
		① 合計	467	1,107	1,311	1,525
	人件費	② 人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	2,700	2,700	2,700	2,700
総事業費①+④			3,167	3,807	4,011	4,225

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① ボランティア登録者	人	200 173	250	300	350
	② 活動施設登録数	箇所	30 29	30	30	30
	③					
	④					
成果指標	① 付与ポイント交換者数 【指標の定義(算式等)】	人	100 64	150	180	210
	② 付与ポイント交換数 【指標の定義(算式等)】	P	5,000 2,372	7,500	9,000	10,500
	③					
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	高齢者自身がボランティア活動を行うことで、介護保険制度の理解を図るとともに、生きがいづくりや介護予防を推進することができる。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	交換者数、ポイント数ともに計画値を下回ったものの、概ね計画のとおり成果があった。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	ボランティア登録者の増加を図るため、研修会を開催している。また、活動施設の増加を図るため、介護事業所等への呼びかけを行っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	同様の事業に取り組んでいる他市においても、活動1時間当たり1ポイントを付与し、1ポイント当たり100円に換算している事例が多いことから、コストを削減することは意欲の低下を招きかねないものとする。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
------------------------------------	--